

令和５年度「市議会と高校生との意見交換会」実施報告

熊本市議会では、市民に議会や議員に対する理解・関心を深めてもらうことを目的に、熊本市立必由館高等学校を対象としたアンケート調査並びに意見交換会を実施しました。

1. アンケート調査

対象者：必由館高校２年生 344 名

調査方法：タブレットによる一斉調査（google form）

アンケート結果（別紙１）

2. 意見交換会

日時：令和５年（2023 年）10 月 30 日（月）16：00～17：00

場所：熊本市立必由館高等学校

参加者：必由館高等学校 13 名（２年生）※生徒会

市議会議員 11 名（田中敦朗議長、島津議会広報委員長、伊藤議会広報副委員長、高本委員、山内委員、古川委員、中川委員、松本委員、木庭委員、木庭委員、村上鷹委員）

意見交換会の概要：

- ・ 議長、校長開会挨拶
- ・ 議員自己紹介の後、各グループにて生徒の自己紹介
- ・ 熊本市議会について（DVD 放映）
- ・ 市長への政策提言（生徒会長報告）
- ・ 3 グループ（1 テーブル：生徒 4～5 人、議員 2～3 人）に分かれてグループトーク
- ・ 議会広報委員長閉会挨拶
- ・ 写真撮影、アンケート記入

意見交換会の様子（別紙２）

意見交換会時の高校生からの意見や要望（別紙３）

意見交換会終了後の生徒感想（別紙４）

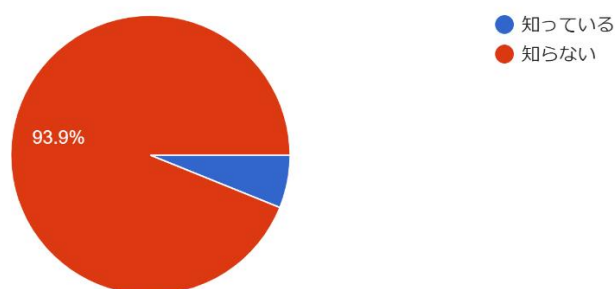
意見交換会終了後の市議会議員所見（別紙５）

熊本市議会に関するアンケート結果

1. 熊本市議会議員について

Q 1 - 1 熊本市議会議員がどんな仕事をしているか知っていますか

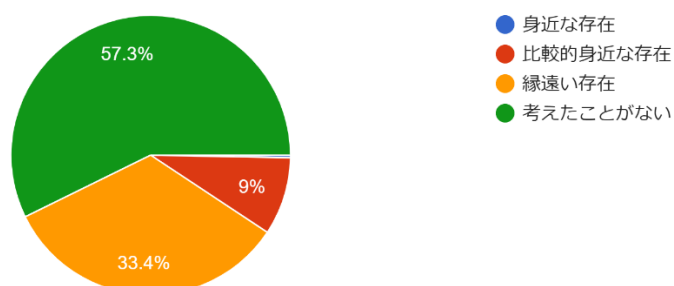
344 件の回答



知っている：21 名
知らない：323 名

Q 1 - 2 あなたにとって熊本市議会議員はどのような存在ですか

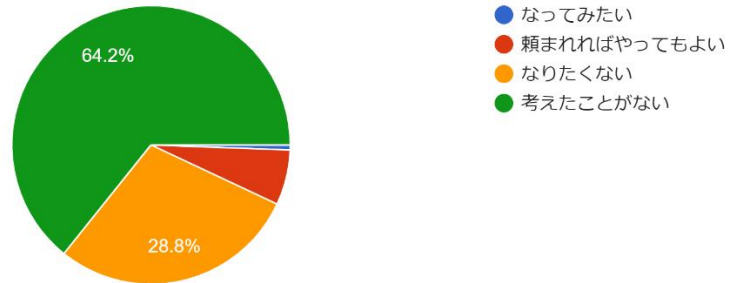
344 件の回答



身近な存在：1 名 比較的身近な存在：31 名
縁遠い存在：115 名 考えたことがない：197 名

Q1-3 熊本市議会議員という職業についてどう思いますか

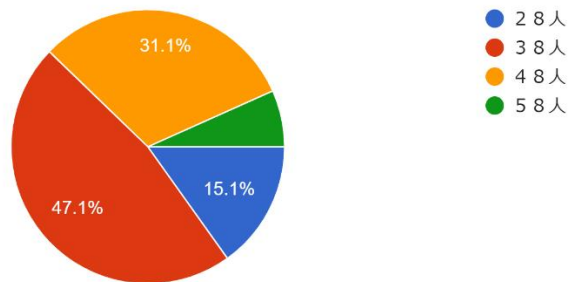
344 件の回答



なっみたい：2 名 頼まれればやってもいい：22 名
なりたくない：99 名 考えたことがない：221 名

Q1-4 熊本市議会の議員定数は何人だと思いますか

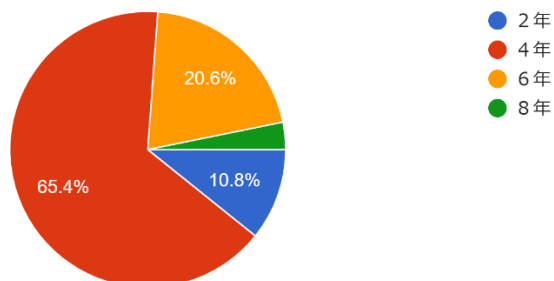
344 件の回答



28 人：52 名 38 人：162 人
48 人：107 人 58 人：23 人

Q1-5 熊本市議会議員の任期は何年だと思いますか

344 件の回答

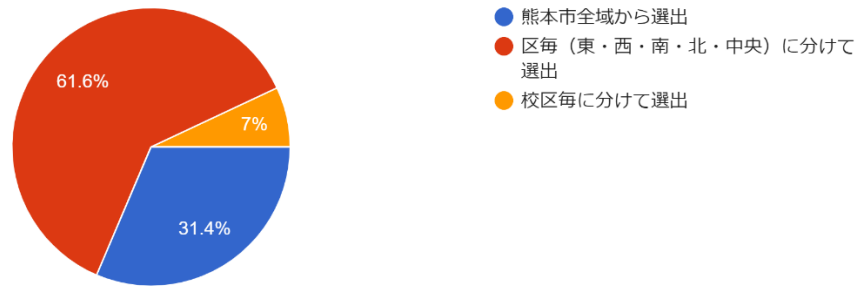


2 年：37 名 4 年：225 名
6 年：71 名 8 年：11 名

2. 選挙について

Q2-1 熊本市議会議員の選挙はどのように行われていると思いますか

344 件の回答



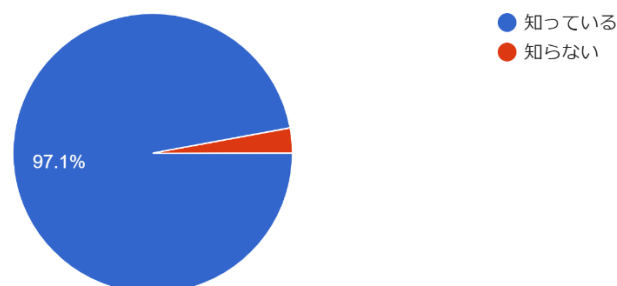
熊本市全域から選出：108 名

区毎（東・西・南・北・中央）に分けて選出：212 名

校区毎に分けて選出：24 名

Q2-2 18歳になると選挙権があることを知っていますか

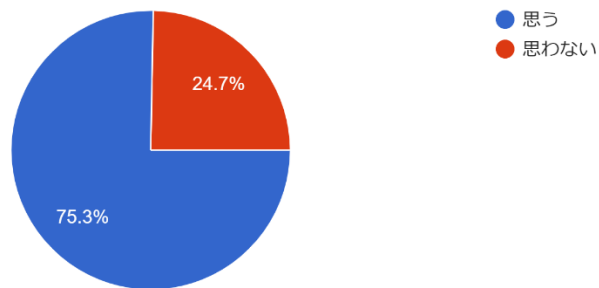
344 件の回答



知っている：334 名

知らない：10 名

Q2-3 選挙権を得たら投票に行ってみたいと思いますか
344 件の回答



思う：259 名
思わない：85 名

Q2-4 ←Q2-3 で「思う」と答えた方のみ回答 その理由を教えてください

- | | |
|-----------------|--------|
| ○投票してみたいから | ・・・6 名 |
| ○なんとなく | ・・・4 名 |
| ○義務だから | ・・・2 名 |
| ○参加したほうがいいと思うから | ・・・2 名 |

※253 件の回答のうち、頻出度の高いものを抜粋

Q2-5 ←Q2-3 で「思わない」と答えた方のみ回答 その理由を教えてください

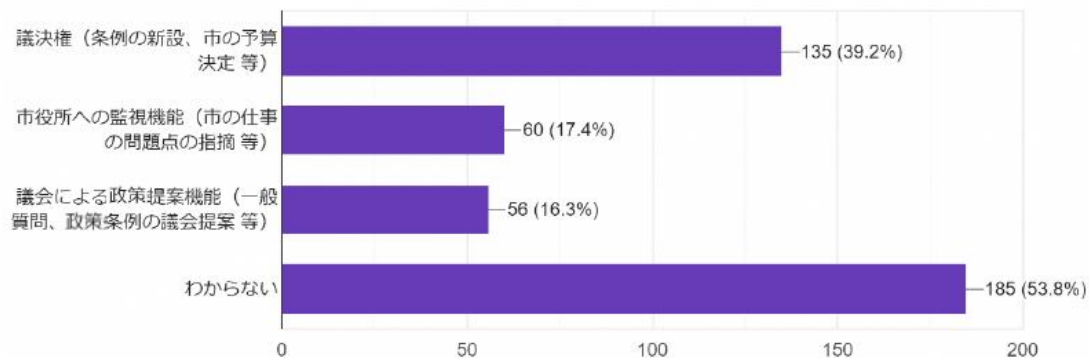
- | | |
|---------------------------|--------|
| ○興味がないから、興味がない | ・・・7 名 |
| ○面倒くさい、面倒くさそう | ・・・5 名 |
| ○まだよくわからないから | ・・・1 名 |
| ○自分一人の投票では意味がないと思うってしまうから | ・・・1 名 |

※69 件の回答のうち、頻出度の高いものを抜粋

3. 熊本市議会について

Q3-1 熊本市議会の役割としてあなたが知っているものを教えてください

344 件の回答



※複数回答

議決権（条例の新設、市の予算決定等）：135 件

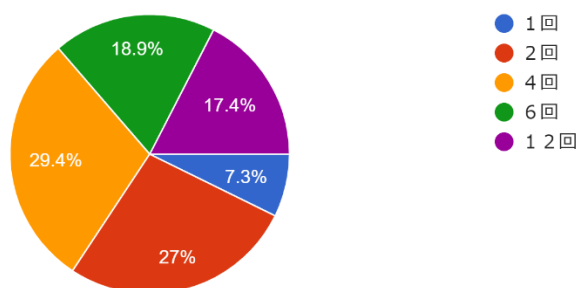
市役所への監視機能（市の仕事の問題点の指摘など）：60 件

議会による政策提案機能（一般質問、政策条例の議会提案等）：56 件

わからない：185 件

Q3-2 熊本市議会（定例会）は1年に何回開かれていると思いますか

344 件の回答



1 回：25 名

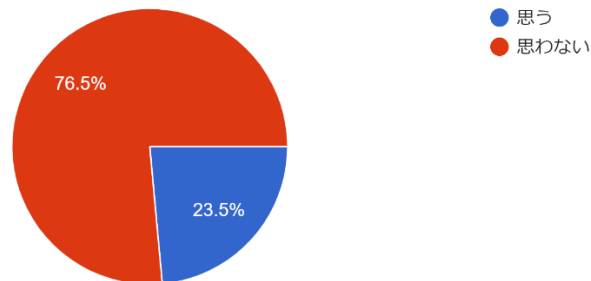
2 回：93 名

4 回：101 名

6 回：65 名

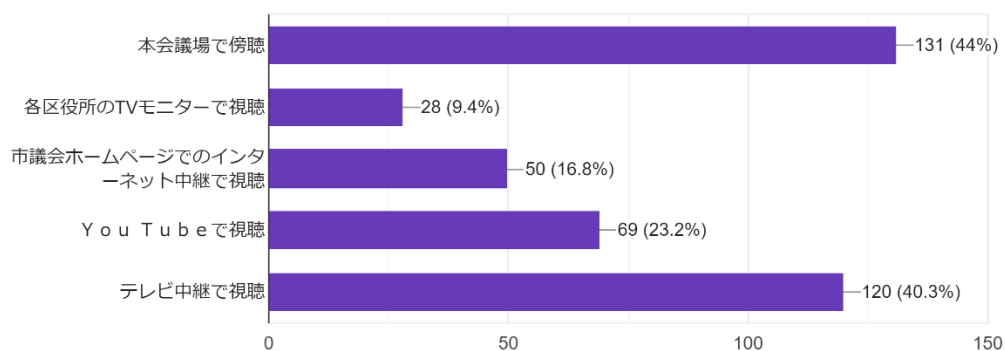
12 回：60 名

Q3-3 機会があれば熊本市議会を傍聴（視聴）してみたいと思いますか
344 件の回答



思う：81 名
思わない：263 名

Q3-4 熊本市議会を傍聴（視聴）する手段について、あなたが知っているものを教えてください
298 件の回答

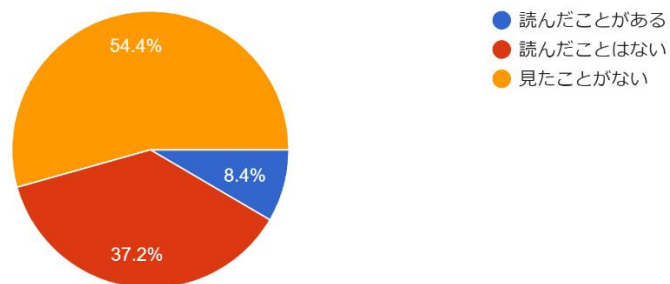


※複数回答

本会議場で傍聴：131 件
各区役所の TV モニターで視聴：28 件
市議会ホームページでのインターネット中継で視聴：50 件
YouTube での視聴：69 件
テレビ中継で視聴：120 件

Q3-5 「くまもと市議会だより」を読んだことがありますか

344 件の回答



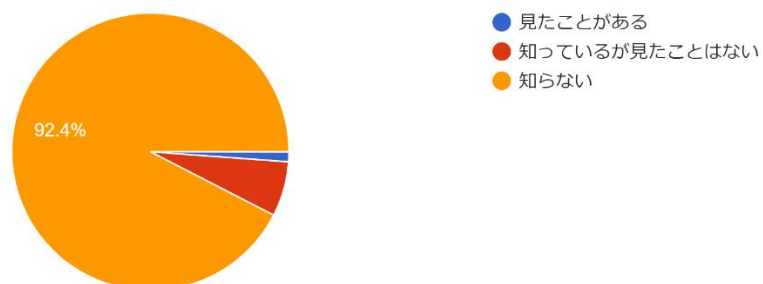
読んだことがある：29 名

読んだことはない：28 名

見たことがない：187 名

Q3-6 熊本市議会公式Instagram・フェイスブックの情報発信を行っているが、見たことがありますか

344 件の回答



見たことがある：4 名

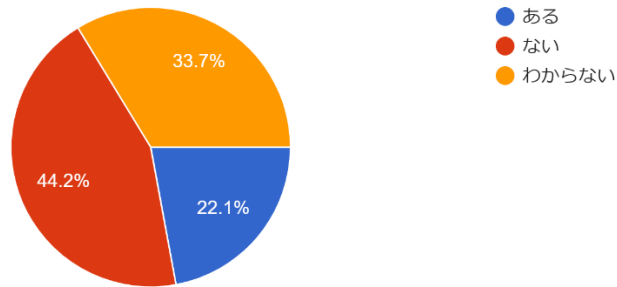
知っているが見たことはない：22 名

知らない：318 名

4. 政治について

Q4-1 政治について興味はありますか

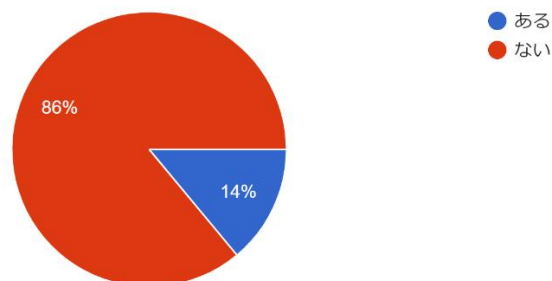
344 件の回答



ある：76 名
ない：152 名
わからない：116 名

Q4-2 政治について身近に感じたことはありますか

344 件の回答



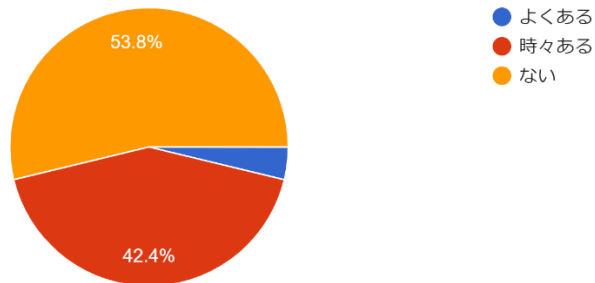
ある：48 名
ない：296 名

Q4-3 ←※Q4-2 で「ある」と答えた方のみ回答 どのような時に身近に感じましたか

- | | |
|----------------|--------|
| ○増税、消費税が上がったとき | ・・・7 名 |
| ○ニュース | ・・・2 名 |
| ○選挙 | ・・・2 名 |

※45 件の回答のうち、頻出度の高いものを抜粋

Q4-4 家族や友達と政治について話すことはありますか
344 件の回答



よくある：13 名
時々ある：146 名
ない：185 名

5. その他

Q5 今後、みんなが住み続けたいまち「熊本市」にするには、何が必要だと思われますか。

- お金 . . . 12 名
- わからない . . . 10 名
- 活気 . . . 3 名
- 安全な環境 . . . 2 名
- 特にない . . . 2 名

※344 件の回答のうち、頻出度の高いものを抜粋

意見交換会の様子



議長あいさつ



①グループ



②グループ



③グループ



意見交換会時の高校生からの意見や要望

<①グループ>

- ・市議会議員はちょっと遠い存在。雲の上の存在。
- ・熊本市議会公式のインスタは知らない。
- ・短い動画、インスタのリールを投稿したらよいと思う。
- ・バズリ系の動画の方が、みんなが見て拡散される。
- ・高校生は投票しようとしても、誰がどんな政策をしようとしているのかわからない。
- ・新聞とかは今の高校生はあまり見ない。
- ・「議会だより」はどこにあるか分からない。
- ・市議会 HP には膨大な量の情報が掲載されていて、見るだけで心が折れる。
- ・バス代を安くしてほしい。高校生料金を作してほしい。
- ・これからの世代が議会を知るためにも「なあぜなあぜ？」(ショート動画)がよいと思う。

<②グループ>

- ・学生は勉強する気はあるが、学習できる場所がない。学習スペースが欲しい。
- ・東京に行くと、熊本は交通の便が劣っていると感じる。
- ・熊本駅と桜町を結ぶループバスの取り組みはよいと思う。
- ・「議会だより」は存在が知られてないので、学校に配ればよいと思う。
- ・表紙にインスタの QR コードを載せた方がよい。
- ・若本がよく集まる店に、「議会だより」においてもらう。
- ・高校生は桜町とアミュによく行く。

<③グループ>

- ・交通の面で、バス代が高くなってきている。
- ・高校生限定のバスを作って、地域ごとに最寄りの駅から高校に直行できるバスができればよい。その時にポイントを作り、交通機関を利用した際にポイントが貯まって、最寄りの駅で学割として使えるようになればよいと思う。
- ・朝の登校時間はどの学校も同じ時間なので、朝限定で高校生限定のバスを作ると良いと思う。
- ・バスの本数を増やすことや運賃を安くすることは乗り手に利点があるが、バス会社に利点がない。
- ・ホームページ作成が重要で、生徒会が管理したホームページを作り、各高校ごとにアクセスしなくても、全高校の情報を見られるようにしたい。生徒自身が作ることで、より深い情報を掲載できる。

意見交換会終了後の感想（高校生）

・議員と話すことが初めてで緊張したけど、分からないなりに質問して、どれだけ市と市議会の人に関わり合っているのかが分かった。また、小さいころから住んでいる地域に疑問を持って、それを意見としてぶつけるのは初めての経験となり、自分のスキルアップにもなった。この会に参加できてうれしかった。

・自分が知らなかった詳しい話まで知ることができて、とてもためになった。話していてとても楽しかったです！！

質問だけでなく、お願いや意見なども快く聞いてくださり、とても良い雰囲気でお話できました。

・今日の意見交換会を行って、とても良い体験になりました。

市議会議員のイメージは、少し怖いイメージがありました。しかし、意見交換会後はとても話しやすく、優しいイメージに変わりました。

今回の意見交換会で出た意見などを基に、私達 10 代にもいろいろな悩みや提案したいことがあるということを知ってもらい、私達がもっと地域に加わることができるようになったら良いなと思いました。今回の経験を次に繋げていきたいです。

・今まで自分たちと議会の人たちとの関わりをあまり感じてなかったけど、議会の方たちと質問したり会話することで繋がっていたことが分かった。

今まで偉い方々というイメージで遠い存在だと思っていたけど、話してみるととても優しい方たちで親近感がわいた。

・始まる前は、とても緊張していました。でも、皆さん優しくて面白可笑しく話をしてくださったので楽に意見交換することができました。

議員の方にお会いするまではどんな方が議員になられているのか全く知らなかったけど、皆さんユニークな方々でびっくりしました。

議員のお仕事は、沢山あって休みもなく常に市民のために行動してくださっていることを知りました。

今まではあまり関心がありませんでしたが、今回の意見交換会でとても興味が湧きました。とても良い経験になりました。

・学校ごとのバスをつくるという提案について、朝は学校を周るバスを使うけど、昼間は高齢者用として使うという意見をいただいて、もう一度考え直そう思いました。また、市議会の人たちの仕事をもっと知ってもらうために私たちにできることを考えていただきたいと思いました。

・最初は緊張していましたが、とても優しい方々で安心して意見を交流することができました。自分は市議会のことについて本当に何も知っていることがなく、今回の話で学ぶべきことが沢山ありました。

田中議長が高校生など若い世代にもっと議員や議会のことを知ってもらうためにはどうすれば良いかという質問では、インスタやホームページなど SNS を活用し、短い動画でギャップを取り入れると良いのではないかという話が出ました。私は、流行の言葉を使うことでもっとたくさんの人に知ってもらえると思いました。私たちが今、安心して何不自由なく過ごしていけるのも議員さんがいるおかげです。これからもよろしくお願い致します。

・市議会議員の方との意見交換会ということとても緊張したけど、フランクに話してくださったのでとても楽しかったです。

「市議会だより」というものがあることを初めて知って、私のように知らない若者が知ってくれるようにするにはどうしたら良いかアイデアを出し合いました。また、私たちが行っている KMSS の提言についても話しました。

学習スペースの設置やバスの本数を増やす・料金を下げるなどの提案が実現したら良いなと思います。

・市議会と学校の仕組みは似ていて、生徒の声をどう聞くか、生徒が言いたいことは誰に言えばいいかなど、はっきりさせていきたいと思いました。

高校生がやるとプラスになることが多いと聞いて、即効性もあるそうなので、もっと頑張ろうと思いました。

取組を行うときや提案するときには、1つ小さな成功例を作ることが大きな根拠になるので、校内でアンケートを取るなど行ってみたいです。また、何かする際にマイナスになることもしっかり考えて、そこをカバーできる案も出していくことが大切だと分かりました。

提言書の交通バスについても話をし、市議会の発信を高校の若者に伝えたり、その逆もできると思ったので、実際に行ってみたいと思いました。

・市議会を知ってもらうために、生徒会から全校生徒に呼びかけることが一番伝わるのではないかという結論になりました。また、提言書の内容について3つほど案を出し話し合い、実現するために必要なことを聞くことができました。若者から若者に発信していく方がより伝わりやすく理解もしやすいため、市議会にも知ってもらいながら、必由館からシャッター街の利用や交通面などを広げていきたいです。

・会う前の印象としては、とても怖いイメージを持っていたけれど、今回話し合うことができて、今まで知らなかったことや、アンケートで疑問に思っていたことも、理解を深めることができて良かったと思いました。

今の生徒会活動で困っていることも相談し、新たな意見やこうした方がいいなどのアドバイスをいただけたので良かったです。

今回得た意見などをもとに早期実現を目標にこれからも頑張ってもらいたいです。

・自分たちが抱く日常の不満を提言書にしてまとめたが、実際に現実是不可能だと思っていました。しかし、市議会議員の方に「まとめたただけだと、ただの1ページ。大人の力を利用して『行動』することが大事」と言われて、1つずつでもいいから実現に向けて取り組むべきという考えに変わりました。また、一気に市を巻き込むのではなく、まずは必由館だけなど、小さい成功例を作ることが大切と学びました。

内容の面でSNSを利用した取組として、必由館生徒会がつくるインスタのアカウントと市議会議員のアカウントをコラボさせても面白いと思う。

個人的な意見としてヘルメット着用率を増すためにはどのような工夫（取組）が必要なのか気になります。

・今日、議員の方と話しをして、どんな仕事をされているのか、どうやって議員になったのかなど、今まで知らなかったことを知ることができて、とても良い機会だった。様々な立場の議員さんがいて、様々な角度からの意見があることでよりよい熊本市がつくられていることが分かった。

意見交換会終了後の所見（市議会議員）

熊本市議会 議長 田中 敦朗

議会広報委員会や議会局、学校関係者の皆さまのおかげで素晴らしい会となりました。深く感謝申し上げます。

「アンケートをもとに進行」という指示だけだと困ることがあるかもしれませんが、参加された委員や生徒さんのスキルが高かったので問題なく意見交換会が行われました。

短い時間ではありましたが、とても貴重な時間を過ごさせてもらいました。なお、オブザーバーの議員さんも名前くらいは紹介しても良かったのではないかと思います。

市立高校との意見交換会は取組みましたので来年度以降は、県立・私立の高校での実施を期待します。

効率化し、他の議員の参加も募り、年２回以上行えたら、更により良いと思います。

熊本市議会広報委員会 委員長 島津 哲也

私にとっては千原台高校、熊本県立大学に引き続き３回目の意見交換会となりました。

今回は広報委員長として、意見交換会の場には入らず外からの見学となりましたが、いろんな意見が飛び交っており、非常に有意義な時間になったと感じております。

今回の意見交換会で感じたことは、高校生は政治や議会に全く関心が無い訳ではなく、日常生活で接することがないため、理解を得られてないということです。

今後も広報委員会で、テーマを設定し、いろんな方々との意見交換会を開催し、市民の皆さまに議会の役割や取組を知ってもらうとともに、ご理解いただけたらと思います。

今後、更に SNS を活用した広報活動等に取り組んでいきたいと思います。

熊本市議会広報委員会 副委員長 伊藤 和仁

熊本市立必由館高校の皆様との意見交換会では、司会を務めさせていただきましたが、会全体として、非常に雰囲気がよく、活発に意見が出ていたと感じられ、有意義な時間であったと思います。どのテーブルも、活発に意見がやり取りされ、ときには笑顔が見られ、さらに議員の方の話に真剣に耳を傾けていたことが印象的でした。

普段はなかなか、高校生の方々と接する機会がないので、若い世代の意見を聞けることがありませんでしたが、この度の意見交換会において、そのことが実現したことが私にとって、非常に良かったと思います。

さらに、この会が、熊本市議会や議員について、さらには政治が身近で、生活に密着しているということを考えるきっかけとなってくれば、今後も継続していくことは、大きな意義があると考えます。

今後も、今回得られた経験をもとに、議会広報に努めていきたいと思います。

熊本市議会広報委員会 高本 一臣

今回の意見交換会は、市民の皆さまに市議会のことを身近に感じてもらいたいとの思いから、広報委員会で進めてきました。

限られた時間で少しでも市議会の活動を知っていただきたいと思いから、アンケートを事前に行うなど工夫してきました。

当日、私は直接、高校生と意見交換する役割ではありませんでしたが、全体を見て回る中で、高校生からSNSを活用した市議会の広報や公共交通に関する政策についての意見が聞け、よい意見交換会になったと思います。また、非常に盛り上がったこともあり、次回以降は政策のテーマを設定して意見交換会をしたいと思います。

ご協力いただきました先生方や高校生の皆さまに、感謝申し上げます。

意見交換会の開催にあたり、事前に行った「熊本市議会議員に関するアンケート」の結果をみると、議員の仕事内容や議員の存在自体についての認知度が予想以上に低く、選挙権を持つ高校生の政治への関心度について、若干ネガティブな印象を持っていた。しかし、当日渡された「熊本魅力推進生徒会による政策提言書」の内容を見ると、魅力ある熊本市にするための提案、若者がまちづくりの主役として活躍すること、交通事情の改善など若者が積極的に行動できることなど、多くの事柄について真剣に模索している様子が感じられた。大変感心すると共にこれからの時代を背負う高校生たちに頼もしさを感じた。

今後自らが考えた政策を現実のものに近づけるために何をすれば良いのか、体当たりのな行動力にも期待するものである。

参加者が生徒会のメンバーであったこともあり、学校の課題、未来状況について向き合い合意形成のプロセスを経験していた立場で話ができ、相互理解しやすいと感じ、お互いに共感することもあった。

行政が普段の生活に密接にリンクしていることに改めて気づき、驚いていた様子でした。生徒が政治や議員を身近に感じてくれた。

生徒たちの願いの 1 つに、市内に学習（自習）スペースを設けて欲しいとのことであった。勉強でき、かつ、教え合う場所が出来ると助かるとのことで、市内にいくつか欲しいということであった。熱量に本気度を感じ頼もしく思った。

議会だよりの認知度向上や、如何にしたら若い人々にも読んでもらえるかについては、有意義な意見やアドバイスをもらうことができた。

熊本市議会広報委員 中川 栄一郎

今回はカメラ担当でしたので生徒さんとお話する機会はあまりなく、意見交換会終了後に少し話をしたくらいでした。写真を撮りながら見ていて、とても話が盛り上がっていたのを感じました。

意見交換会に参加された皆さんはいい笑顔で疑問に思っていることや、自分のこととかもしっかり発言されていたと思いました。

今回参加された生徒さんは間違いなく、議員という仕事の必要性に興味を持ってくれたと思いますし、18歳になって選挙権が与えられれば、必ず投票に行ってもらえると思います。やはり、若い方が選挙に足を運ぶことが投票率アップに繋がると思いますので、すごく良い企画であったと思います。次回は私も意見交換会の方に参加したいと思いました。

熊本市議会広報委員 松本 幸隆

必由館高校の生徒会との意見交換会を終え率直に感じたことは、自分たちの考えをしっかりと持ち、行動力がある高校生だと感じました。議員の仕事、議会についても、新たにいろいろと知っていただき、良い意見交換会の間だったと思います。

熊本魅力推進生徒による魅力ある熊本市にするための提言書の中にある、学生向け自習スペースの設置の件ですが、「私たち、高校生は勉強したいんです。一人ではなく友達や他の高校生と情報交換できる勉強スペースが欲しい」と、力強く要望されていました。提言理由を聞けば納得しました。若い世代の声が届くような熊本市にしていかなければならないと改めて実感したところです。

熊本市議会広報委員 木庭 功二

必由館高校の生徒さんからは、「なぜ、議員になったのか？」といった、議員本人に対する質問をはじめ、「議会が開かれていない時には、どのような仕事をしているのか？」という、議員の活動に関すること、そして、熊本市が今一番力を入れている政策やまちづくりについてなど、様々な角度からの質問や意見がありました。

政治、なかんずく市政というものが、自分の身の回りの生活と直結していて、二元代表制の中で議会と執行機関が様々な議論を交わし、重要な施策が決定されていることを知ってもらいきっかけとなったのではないかと思います。

お互いに時間が限られた中ではあるかと思いますが、今後は、意見交換のテーマを事前に決めると、より充実した意見交換会になるのではないかと感じました。

熊本市議会広報委員 菊地 渚沙

若い力を感じた１日でした。

若者の政治離れが叫ばれる中、自主的に集まった有志で熊本市の魅力化についての考えや議論を交わし、多様な意見の中から提言をまとめる、その姿はまさに希望の光。提言書作成のために、校内でパブリックコメントまで実施されたそうです。

意見交換会では、「議員になるには、どうしたらなれますか？」、「議員さんは普段、何をしていますか？」などの質問がありました。

私のグループでは、「市政の課題を若者にも分かりやすく発信してほしい」という話題で盛り上がりました。

今年度から熊本市議会では公式Instagramによる情報発信をしてきましたが、若い世代に興味を持っていただくためには、より創意工夫する必要があるそうです。

熊本市議会広報委員会が実施した高校生との意見交換会は、議会への理解と関心を深めてもらうために大変、意義のある取組であった。

意見交換会に参加した高校生は、議会や議員の役割について直接議員から聞くことができ、議会を身近に感じる事ができたと考えられる。また、意見交換会を通じて、高校生からは市政に対する様々な意見や要望が寄せられ、議員にとっては貴重な意見収集の機会となった。アンケート結果からは、高校生の議会に対する認知度や関心の低さが明らかになったが、意見交換会では、高校生から活発な意見が出されたことから、議会や政治に対する関心は決して低くはないと考えられ、興味を持ってもらえればより一層、関心は高まると考えられる。今後も、高校生をはじめとする若い世代との意見交換会を継続することで、議会への理解と関心をさらに深めていくことができるだろうし、若い世代の意見も積極的に取り組める機会の場になるだろう。

より意義のある意見交換会をするために、次回開催時には

1. 参加者の興味や関心に合わせて、議会や市政に関するテーマを設定する。
2. 参加者から意見や要望を積極的に引き出すための工夫をする。
3. 意見交換会の内容を広く周知し、参加の機会を増やす。

これら 3 点を取り入れ、議会をより身近に感じてもらえる環境を整えていくことが重要である。